

平成28年度 総会に当たって

関東安陵会会長 中 川 裕 雄

平成27年度の総会で、新たに会長に就任しました昭和43年卒業の中川裕雄です。ひと言ごあいさつ申し上げます。

ここ上野での恒例の関東安陵会総会並びに懇親会の開催も早いもので9年目を迎え、今年の総会で新たな体制となつての初めての総会ですが、本日、池田浩一校長先生や丸田卯禮男本部長安陵会会長をはじめ、多数のご来賓をお迎えし、会員の多くの出席の中、盛大に開催できますことに感謝申し上げます。

また、この関東安陵会の運営に当たりましては、会員の皆様に日頃よりご指導・ご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、関東安陵会は、会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に寄与することを目的に昭和22年に設立以来現在に至るまで脈々と活動を続けてこられていることに鑑みると、改めて先人のご苦勞・ご努力に対し敬意を表する次第です。50年の節目には、これまでの活動記録を編纂した「安陵遙か」の記念誌を発行しております。そこには奄美現代史が凝縮され、貴重な記録として結実しており、今後の記念誌は75周年、100周年と次代への期待が込められています。

この先達の思いを我々は、受け継いでいかなければならないと思います。

ところで、平成29年度には、関東安陵会は70周年を迎えます。組織の維持・強化を図っていくためには、まず、その運営の基礎である事務局体制の確立が求められますが、幸いなことに漸次、会員のご理解・ご協力によりまた、前会長のリーダーシップのもとでの取組により体制を整えつつあります。

このため、関東安陵会のさらなる飛躍を図るため、これまでの取組方針を踏まえて、また、次世代に向けて

① 活動の基軸である「3つの絆」の推進

- ・ 上下間の絆（一言の教訓、重きこと千金の思いで）
- ・ 同期生の絆
- ・ クラブ活動会員の絆をもとに「たてとよこ」の絆を強いものにしていく

② 関東安陵会の活動の「見える化」の推進

- ・ ホームページを通じた会の活動の活発化を図るとともに会員同士の情報交換を密にしていく

③ 75周年を見据えた取組の推進

- ・ 75周年を迎えるに当たって、50周年以降これまでの歴史を踏まえつつ、記念誌の発行を含め、さらなる検討を進めていく

以上の3つの柱を中心に取組んでいきたいと考えていますが、その中で若い世代の参加をいかに促していくかという課題等もあり、会員のさらなるご理解・ご協力のほどを切にお願いいたします。

最後に、関東安陵会の益々の発展、母校の発展を願い、また、ご参集いただいた皆様のご健勝を祈念し、ごあいさつとさせていただきます。